

平成18・19年度 補助金等評価結果

	今後(中期的)の方向性								合計
	拡大	現状維持	縮小	統合	休止	廃止	終了	その他	
一次評価(件)	15	167	13	2	0	5	4	5	211
一次評価(%)	7.11	79.15	6.16	0.95	0.00	2.37	1.90	2.37	100
二次評価(件)	6	153	26	3	0	6	4	13	211
二次評価(%)	2.84	72.51	12.32	1.42	0.00	2.84	1.90	6.16	100
外部評価(件)	2	8	6	0	0	6	0	12	34
外部評価(%)	5.88	23.53	17.65	0.00	0.00	17.65	0.00	35.29	100
最終方針(件)	5	155	24	4	0	5	4	14	211
最終方針(%)	2.37	73.46	11.37	1.90	0.00	2.37	1.90	6.64	100

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域（他市町村）で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価（試行）対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価（総務部）【H19. 1】			外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント	
1	総務課	職員厚生事業補助金	愛川町職員親睦会	運営費等補助金	町単独	1,912	2,795	2,013	現状維持	その他	本町の補助単価は他市町村より低い単価設定となっているため、職員親睦会への補助金全体の中で検討を加える必要がある。	現状維持	○人間ドック受診率の向上を図ってほしい。 ○補助事業の性格上、有効性を判断するのは困難である。 ○他市町村の状況と比較しながら、単価を引き上げることも必要。	現状維持	平成19年度に人間ドックへの助成金を増額していることから、当面は現状維持とする。脳ドックについては、本町の補助単価は他市町村より低い単価設定となっているため、段階的引上げを検討する。	
2	総務課	職員駐車場賃貸借料補助金	愛川町職員親睦会	運営費等補助金	町単独	2,101	1,687	2,100	現状維持	廃止	平成19年度をもって本補助金を廃止し、今後は職員親睦会単独で運営を行う。			廃止	平成19年度をもって本補助金を廃止する。	
3	総務課	広聴委員会活動費補助金	愛川町広聴委員会	運営費等補助金	町単独	118	7	108	現状維持	その他	広聴委員会の本来の目的の原点に戻って充実を図る必要がある。			現状維持	町長と話し合うつどいをスムーズに行うためには、現状のままだが望ましい。	
4	総務課	宿泊施設利用者助成金	要綱第3条に規定する者(在住・在勤・在学者)	その他補助金	町単独	522	-	443	現状維持	現状維持	多少の単価アップでは利用者の拡大にはつながらない。			現状維持		
5	総務課	行政区協力交付金	各行政区(21行政区)	交付金	町単独	9,979	-	9,978	現状維持	現状維持		現状維持	自治会加入率の増加に努力されたい。	現状維持	自治会加入率の増加に向けた方策の検討を要する。	
6	総務課	地域づくり活動費交付金	各行政区(21行政区)	交付金	町単独	9,861	-	9,865	現状維持	現状維持				現状維持		
7	総務課	区長活動費交付金	愛川町区長会	交付金	町単独	8,400	-	7,350 (定額)	現状維持	現状維持	段階的引き下げ (平成16・17年度 → 1行政区あたり 40万円) (平成18・19年度 → 1行政区あたり 35万円)			現状維持		
8	企画政策課	広域的幹線の路線バス運行対策費補助金 ▲ (路線維持費 3, 210千円) (車両購入費 1, 035千円)	神奈川中央交通株式会社	その他補助金	広域	2,920	-	4,205	その他	その他	相模原市との協議を重ねるとともに、新病院開設に合わせ、既存のバス路線延伸を研究する。			その他	相模原市との協議を重ねるとともに、新病院開設に合わせ、既存のバス路線延伸を研究する。	
9	企画政策課	町民アイデアまちづくり事業補助金	当該年度の申請団体	その他補助金	町単独	6,282	-	7,002	廃止	廃止	自治基本条例に規定する町民公益活動への新たな財政的支援策の構築について、平成19年度中に町民参加推進会議で検討する。	廃止	-	廃止	平成19年度をもって本補助金を廃止する。 現在、町民公益活動に対する新たな財政支援策について、町民参加推進会議にて検討中。	
10	企画政策課	県立愛川高校ボランティア活動保険料補助金	県立愛川高校	その他補助金	町単独	87	-	89	現状維持	現状維持				現状維持		
11	行政推進課	愛川町統計登録調査員連絡会補助金	愛川町統計登録調査員連絡会	運営費等補助金	町単独	90	65	90 (定額)	現状維持	縮小	繰越金の状況から削減する。			縮小	(H18繰越額 50千円) 繰越金の状況から削減する。 90, 000円 → 85, 000円(▲5%)	
12	管財契約課	愛川町土地開発公社補助金	愛川町土地開発公社	運営費等補助金	町単独	500	-	500 (定額)	その他	現状維持				現状維持		

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価 (総務部) 【H19. 1】			外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント	
13	福祉課 (福祉支援課)	町民生委員児童委員協議会補助金 ※	愛川町民生委員児童委員協議会	運営費等補助金	県補助 @780×64人×12	2,400	194	2,400 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
14	福祉課 (福祉支援課)	町社会福祉協議会補助金	町社会福祉協議会	運営費等補助金	町単独 (県直接あり)	39,917	28,685	37,995	現状維持	現状維持	町派遣職員を引き上げる予定			現状維持		
15	福祉課 (福祉支援課)	あいかわ福祉サービス協会運営費補助金	あいかわ福祉サービス協会	運営費等補助金	町単独	3,857	905	4,082	現状維持	縮小	旅費や需用費を除いた人件費のみを補助対象とすべきである。	現状維持	他の民間組織の健全な育成を図る必要がある。	現状維持		
16	福祉課 (福祉支援課)	町遺族会運営費補助金	町遺族会	運営費等補助金	町単独	161	172	161	現状維持	現状維持				現状維持		
17	福祉課 (福祉支援課)	身体障害者地域作業所運営費補助金 ※	障害者地域作業所 あいかわ工房	運営費等補助金	県補助 (7/16)	9,630	901	10,550	拡大	その他	障害者自立支援法の体系に移行していく計画(H20年まで)			その他	障害者地域作業所あいかわ工房について、平成21年度までに障害者自立支援法(H18年度施行)の体系に移行(介護給付・訓練等給付事業の就労継続支援B型)していく。	
18	福祉課 (福祉支援課)	身体障害者福祉協会運営費補助金	身体障害者福祉協会	運営費等補助金	町単独	170	543 ★	170 (定額)	現状維持	縮小	50周年記念事業を控え繰越金が多くなったという理由であるが、2年以上連続して繰越金が補助金交付額を上回っているため、「補助金等の見直しに関する指針」に基づき削減を行い、併せて「身体障害者福祉協会スポーツ部補助金」との統合を検討すべきである。	縮小 統合	繰越金が多すぎるため削減とともに、身障者スポーツ部補助金と統合の方向で検討すべきである。	縮小	(H18繰越額 269千円) 繰越金の状況から削減する。 ①身体障害者福祉協会運営費補助金 170,000円 ②身体障害福祉協会スポーツ部補助金 30,000円 ↓ ②を①に統合し、身体障害者福祉協会運営費補助金として180,000円とする。(▲10%)	
19	福祉課 (福祉支援課)	身体障害福祉協会スポーツ部補助金	身体障害者福祉協会	運営費等補助金	町単独	30		30 (定額)	現状維持	統合	NO18身体障害者福祉協会運営費補助金と統合する。			統合	同 上	
20	福祉課 (福祉支援課)	傷痍軍人会運営費補助金	傷痍軍人会	運営費等補助金	町単独	30	43 ★	30 (定額)	現状維持	縮小	2年以上連続して繰越金が補助金交付額を上回っているため、「補助金等の見直しに関する指針」に基づき削減を検討すべきである。			現状維持	(H18繰越額 25千円) 繰越金が減少傾向にあることや年度初めの総会費用に充当していることから、当面は現状維持とする。	
21	福祉課 (福祉支援課)	手をつなぐ育成会運営費補助金	手をつなぐ育成会	運営費等補助金	町単独	100	12	100 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
22	福祉課	身体障害者福祉協会創立50周年記念事業補助金	身体障害者福祉協会	運営費等補助金	町単独		－	520	終了	終了	H18年度のみ			終了		
23	福祉課 (福祉支援課)	在宅精神障害者地域作業所補助金 ※	愛川町精神保健福祉研究会	運営費等補助金	県補助 (7/16)	9,880	42	10,530	現状維持	現状維持				現状維持	H19年度から「精神障害者地域作業所運営費補助」に名称変更	
24	福祉課 (福祉支援課)	町母子福祉会運営費補助金	町母子福祉会	運営費等補助金	町単独	121	70	121 (定額)	現状維持	縮小	基金が1,000,000円あるため、活用策を検討する。			縮小	(H18繰越額 54千円) 基金を慰安激励会に充当し、844,519円(H19.8.31現在)となった。引き続き基金の活用を図る。 121,000円 → 85,000円に削減する。(▲30%)	
25	福祉課 (子育て支援課)	認定保育施設運営費補助金 ※	愛川町の児童が通所している認定保育施設 (町内:1園 町外:4園)	運営費等補助金	県補助 (1/3)	2,452	－	2,781	現状維持	現状維持	県の補助単価が毎年上がっているため、交付額は拡大していく。 (内容は現状維持だが、県費が増えることによる拡大。)			現状維持		

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価 (総務部) 【H19. 1】		外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント
26	福祉課 (子育て支援課)	民間保育所運営費補助金 ※	愛川町から他市町村の民間保育所へ児童を入所委託している保育所。年度によって異なる。H16年度5園、H17年度6園	運営費等補助金	県補助 (1／2)	996	－	1,594	現状維持	現状維持	同 上			現状維持	
27	福祉課 (子育て支援課)	届出保育施設利用者支援事業費補助金 ※	愛川町内の私設保育施設(愛川教会幼児園・エスコアカアレプランル・くれよん保育園・保育室さくらんぼ)	運営費等補助金	県補助 (1/3)	210	－	203	現状維持	現状維持	県の補助単価が毎年上がっているので、交付額は拡大していく。 (内容は現状維持だが、県費が増えることによる拡大。)			現状維持	
28	福祉課 (福祉支援課)	重度障害者住宅設備改良費補助金 ◎※	身体障害者1・2級 知的障害者35以下 身体3級かつ知能指数50以下の住宅設備改良する必要があるもの	建設事業補助金	国補助 (1/2以内) 県補助 (1/4以内)	1,333	－	986	現状維持	現状維持				現状維持	
29	福祉課 (福祉支援課)	町遺族会沖縄参拝事業参加補助金	町遺族会	その他補助金	町単独	136	－	210	現状維持	現状維持				現状維持	
30	福祉課 (福祉支援課)	障害者福祉的就労協力事業所奨励事業補助金 ※	指定福祉的就労協力事業所(4施設)	その他補助金	県補助 (1／2)	1,200	－	1,440	拡大	拡大	対象事業所の拡大			その他	指定福祉的就労協力事業所の増加を図る方策の検討 (商工観光課で所管する障害者雇用奨励金とのタイアップなど)
31	福祉課 (福祉支援課)	知的障害者生活ホーム家賃助成補助金	自立支援法において町が援護の実施者となっている生活ホーム利用者(かもめの家ほか4施設の入居者)	その他補助金	町単独	1,403	－	1,641	現状維持	現状維持				現状維持	
32	福祉課 (子育て支援課)	私設保育施設入所児助成事業費補助金	私設保育施設に児童を通所させている保護者	その他補助金	町単独		－	858	拡大	拡大	平成19年度から3歳以上児の保護者に一律助成とした。	拡大	○子育て支援として充実させる必要性が認められる。 ○平成19年度から3～5歳は就労しなくても交付対象としたため拡大と判定。 ○所得制限の設定などについて検討されたい。 ○補助金を受けた保護者が保育料を保育施設に支払っているかチェックする必要がある。 ○多様化、核家族化している状況の中で民間保育施設の需要は多いと考える。	拡大	○平成19年度から3歳以上児の保護者に一律助成としたため拡大と判定。 ○所得制限の設定の検討 ○保育料の支払いチェック体制の検討
33	福祉課 (国保医療課)	厚木医師会医療助成交付金 ▲	厚木医師会	交付金	広域	540	－	540	現状維持	現状維持				統合	○地域医療対策として予算計上を一本化する。 NO43「老人保健医療医師会協力交付金」825千円 NO61「厚木市医師会保健衛生行政協力交付金」195千円
34	長寿課 (健康長寿課)	厚木医療福祉連絡会運営費補助金 ▲	厚木医療福祉連絡会	運営費等補助金	広域	122	177	122	現状維持	現状維持				現状維持	
35	長寿課 (健康長寿課)	特別養護老人ホーム等水道料金助成金	特別養護老人ホーム(ミノワホーム・志田山ホーム)。介護老人保健施設(せせらぎ)	運営費等補助金	町単独	4,679	－	5,052	現状維持	現状維持	区分の変更を検討する。 「運営費等補助金」 → 「その他補助金」			現状維持	区分の変更を検討する。 「運営費等補助金」 → 「その他補助金」

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価（総務部）【H19. 1】		外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町)【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント
36	長寿課 (健康長寿課)	特別養護老人ホーム運営費補助金	ミノワホーム(平成24年度まで)、志田山ホーム(平成17年度で終了)	運営費等補助金	町単独 (県直接あり)	1,271	－	1,209	現状維持	現状維持				現状維持	
37	長寿課 (健康長寿課)	町生きがい事業団運営費補助金 ※	愛川町生きがい事業団	運営費等補助金	県補助(定額) (国直接あり)	6,500	5,440	6,500 (定額)	拡大	拡大	平成19年度から補助金名を「町シルバー人材センター運営費補助金」に変更するとともに、定額補助ではなく精算方式とする。	拡大	○筆耕や事務的な仕事の面での取組みも望まれる。 ○町民への広報活動に一層の工夫改善が必要。	拡大	○平成19年度から補助金名を「町シルバー人材センター運営費補助金」に変更するとともに、定額補助ではなく、精算方式に変更し拡大を図った。 ○町民への広報活動の一層の工夫を行う。
38	長寿課 (健康長寿課)	単位老人クラブ等運営費補助金 ◎※	単位老人クラブ23クラブ	運営費等補助金	国補助 (1/3) 県補助 (1/3) 単価差あり	2,210	－	2,219	現状維持	現状維持	60歳からの加入可となっているが、「老人クラブ」という名称を変更し、60代の人でも気軽に加入できるようにすることにより、加入率を高めていく必要がある。			現状維持	クラブ加入年齢制限の見直しやクラブ名称の検討
39	長寿課 (健康長寿課)	町老人クラブ連合会補助金 ◎※	愛川町老人クラブ連合会	運営費等補助金	国補助 (1/3) 県補助 (1/3) 単価差あり	583	43	585	現状維持	現状維持	60歳からの加入可となっているが、「老人クラブ」という名称を変更し、60代の人でも気軽に加入できるようにすることにより、加入率を高めていく必要がある。			現状維持	クラブ加入年齢制限の見直しやクラブ名称の検討
40	長寿課 (健康長寿課)	火災警報器設置費用補助金 (名称変更)	助成申請者	その他補助金	町単独	－	－	107	拡大	現状維持	平成18年度3人(H19.3月末現在)のためPRが必要である。			現状維持	補助制度の積極的なPRを推進する。
41	長寿課 (健康長寿課)	ホームヘルパー養成研修受講支援補助金	ホームヘルパー養成研修受講支援に関する助成申請者	その他補助金	町単独	－	－	40	現状維持	現状維持	平成18年度から行革改善項目として、町主催から補助金方式に変更したが、現時点で1人のみ。 積極的なPRとともに、ホームヘルパー養成の必要性に対する現状認識を行い、制度のあり方を検討する。			現状維持	補助制度の積極的なPRを推進する。
42	長寿課 (健康長寿課)	住宅改修支援事業補助金	指定居宅介護支援事業者	その他補助金	町単独	14	－	10	現状維持	現状維持				現状維持	
43	長寿課 (国保医療課)	老人保健医療医師会協力交付金 ▲	(社)厚木医師会 (社)厚木歯科医師会	交付金	広域	1,310	－	1,310 (定額)	廃止	廃止	平成20年度から後期高齢者医療制度に移行するため、平成19年度をもって廃止すべきであるが、厚木市、清川村との調整が必要である。	廃止	○広域連合に移管されるため現状の制度は廃止とする。 ○制度廃止に伴い、今後の具体的対応策の検討や制度改正の周知を早急にすべきである。 ○町負担分の算出根拠が曖昧である。 ○財政状況を考慮して判断する必要がある。 ○人口比にすると支出金額が多いのでは。	廃止	老人保健特別会計の残存期間(老人保健医療費の請求可能な期間)である平成22年度までは据え置くものとし、平成23年度から廃止予定。
44	住民課	(財)法律扶助協会神奈川県支部補助金 ▲	(財)法律扶助協会神奈川県支部	運営費等補助金	広域	20	(2,334)	20 (定額)	現状維持	現状維持	制度改正により、民事と刑事に分かれ、今後は横浜弁護士会(民事のみ)に交付する。			現状維持	平成19年度から補助金名を「横浜弁護士会自主事業運営費補助金」に改め、横浜弁護士会(民事のみ)に交付する。
45	住民課	厚木警察署管内交通安全協会補助金 ▲	厚木警察署管内交通安全協会	運営費等補助金	広域	250	(3,382)	250 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持	

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	…… 国の補助を受けているもの
	※	…… 県の補助を受けているもの
	▲	…… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	…… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		…… 外部評価(試行)対象事業
		…… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価（総務部）【H19. 1】			外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント	
46	住民課	厚木警察署管内交通安全協会 町内4支部補助金	厚木警察署管内交通安全協会町内4支部 (愛川支部・高峰支部・ 中津支部・工業団地支部)	運営費等補助金	町単独	800	359	800 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
47	住民課	内陸工業団地職場警察連絡協議会補助金 ▲	内陸工業団地職場警察連絡協議会	運営費等補助金	広域	30	－	30 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
48	住民課	町交通安全母の会連絡協議会 補助金	愛川町交通安全母の会連絡協議会	運営費等補助金	町単独	150	86	150 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
49	住民課	町交通安全対策協議会補助金	愛川町交通安全対策協議会	運営費等補助金	町単独 (県直接あり)	500	55	500 (定額)	現状維持	現状維持		その他	○必要な事業には、必要な予算をつけるべきで、寄付金に頼らないような予算措置が必要である。 ○予算が増大されれば異なった活動が展開できるので、事業費増額の方向で検討する。 ○活動内容の点検が必要。 ○類似事業団体との連携を図る(類似団体との調整により、重複事業を廃止する)。 ○交通安全推進大会の表彰のあり方について検討すべきである。	その他	外部評価での指摘や提言を考慮し、今後検討する。	
50	住民課	町防犯協会運営費補助金	愛川町防犯協会	運営費等補助金	町単独	600	50	600	現状維持	現状維持				現状維持		
51	住民課	下谷八菅山斎場対策委員会運営費補助金	下谷八菅山区斎場対策委員会	運営費等補助金	町単独	300	48	300	現状維持	現状維持				現状維持		
52	住民課	バス停留所上屋設置事業補助金	神奈川中央交通(株)	建設事業補助金	町単独	1,727	－	1,317	現状維持	現状維持				現状維持		
53	住民課	人権団体補助金	国連登録NGO横浜国際人権センター (社)神奈川人権センター	その他補助金	町単独	60	－	60 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
54	住民課	防犯モデル地区補助金	町内防犯モデル地区 (1行政区)	その他補助金	町単独	100	－	100 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
55	住民課	防犯指導員研修会補助金 【隔年交付】	厚木警察署管内防犯指導員連絡協議会	その他補助金	町単独		－	78	現状維持	現状維持	補助金ではなく、謝金での支出を検討する。			現状維持	補助金ではなく、謝金での支出を検討する。	

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価（総務部）【H19. 1】			外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント	
56	健康づくり課 (健康長寿課)	町食品衛生協会補助金	愛川町食品衛生協会	運営費等補助金	町単独	60	508★	60 (定額)	縮小	縮小	会員数が減少傾向にあることや、2年以上連続して繰越金が補助金交付額を上回っているため、「補助金等の見直しに関する指針」に基づき、削減を検討すべきである。	廃止	今後は自主的な運営の充実と自己責任での対処が望まれる。	縮小	(H18繰越額 177千円) 繰越金が多いことや会員数が減少傾向にあることから、段階的に削減する。 60, 000円 → 48, 000円(▲20%)【H20年度】	
57	健康づくり課 (健康長寿課)	町味彩会補助金	愛川町味彩会	運営費等補助金	町単独	630	24	630 (定額)	現状維持	現状維持	団体の活動状況を見ながら、当面は現状維持とする。	現状維持	○時代の変遷により食生活も異なる。 絶えず時代に即した食生活の改善を望む。 ○当面現状維持とするが、今後見直し改善の必要が生じてくると考える。	現状維持	当面現状維持とするが、今後見直し改善の検討を要す。	
58	健康づくり課 (健康長寿課)	健康づくりブロック活動補助金	愛川町健康づくり推進委員会	運営費等補助金	町単独	150	－	125 (定額)	現状維持	現状維持	平成18年度に補助金を削減している。 (150, 000円 → 125, 000円)			現状維持		
59	健康づくり課 (国保医療課)	耳鼻咽喉科診療業務補助金	医療法人社団陽厚会 春日台病院	運営費等補助金	町単独	259	－	238	廃止	廃止	耳鼻咽喉科診療が不足診療科目でなくなったため、平成19年度から廃止。			廃止	耳鼻咽喉科診療が不足診療科目でなくなったため、平成19年度から廃止。	
60	健康づくり課 (国保医療課)	医療機関整備資金利子補給金	町内の医療機関で本要綱に基づき申請した者	その他補助金	町単独	3,087	－	3,412	その他	その他	地域医療対策懇話会等での検討を踏まえ、現行の利子補給要綱の見直しを検討する必要がある。	その他	二次評価のとおり、現行の利子補給要綱の見直しを検討する必要あり。	その他	経営状況や補助期間などについて、地域医療対策懇談会で検討し、現行の利子補給要綱の見直しを行う。	
61	健康づくり課 (国保医療課)	厚木医師会保健衛生行政協力交付金 ▲	社団法人 厚木医師会	交付金	広域	195	－	195 (定額)	統合	統合	現行の健康づくり課(195, 000円)、福祉課(540, 000円)、長寿課(825, 000円)でそれぞれ交付しているが、国保医療課の地域医療対策として一本化し、目的を明確化する。			統合	○厚木市、清川村と早急に調整を行う。 ○下記補助金を地域医療対策として一本化し、目的を明確化する。 NO33「厚木医師会医療助成交付金」540千円 NO43「老人保健医療医師会協力交付金」825千円 NO61「厚木医師会保健衛生行政協力交付金」195千円	
62	健康づくり課 (国保医療課)	厚木歯科医師会保健衛生行政協力交付金 ▲	社団法人 厚木歯科医師会	交付金	広域	100	－	100 (定額)	統合	統合	現行の健康づくり課(100, 000円)、長寿課(485, 000円)でそれぞれ交付しているが、国保医療課の地域医療対策として一本化し、目的を明確化する。			統合	○厚木市、清川村と早急に調整を行う。 ○下記補助金を地域医療対策として一本化し、目的を明確化する。 NO43「老人保健医療医師会協力交付金」485千円 NO62「厚木歯科医師会保健衛生行政協力交付金」100千円	
63	健康づくり課 (健康長寿課)	医師会集検部交付金 ▲	社団法人 厚木医師会	交付金	広域	100	－	100 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
64	環境課	神奈川県獣医師会厚木愛甲支部補助金 ▲	神奈川県獣医師会厚木愛甲支部	運営費等補助金	広域	30	0	30 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
65	環境課	自然保護団体育成補助金	松葉沢ホテル保存会	運営費等補助金	町単独	60	0	60 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
66	環境課	坂本区衛生プラント対策委員会補助金	坂本区衛生プラント対策委員会	運営費等補助金	町単独	300	61	300 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価 (総務部) 【H19. 1】			外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント	
67	環境課	合併処理浄化槽設置整備事業補助金 ◎※	調整区域内で専ら居住の用に供する建物に合併処理浄化槽を設置しようとする者	建設事業補助金	国補助 (1/3) 県補助 (1/3)	6,360	－	6,633	現状維持	現状維持	平成21年度からは県の補助金制度(平成21年度から新設分は廃止)に合わせていく必要がある。			現状維持	平成21年度からは県の補助金制度(平成21年度から新設分は廃止)に合わせていく必要がある。	
68	環境課	猫不妊去勢手術費助成金	猫の所有者または町民	その他補助金	町単独	715	－	700	現状維持	現状維持				現状維持		
69	環境課	住宅用太陽光発電設備設置事業補助金	町内に自ら居住する住宅に太陽光発電設備を設置した個人	その他補助金	町単独		－	2,991	現状維持	現状維持	H18年度スタート。			現状維持		
70	環境課	美化プラント委員会補助金	中里7人委員会	その他補助金	町単独	100	－	100 (定額)	現状維持	現状維持	平成16・17年度は研修視察未実施(18年度は実施)の状況から、実施方法について地元と協議する。			現状維持	地元の意向を聴きながら実施内容について検討する。	
71	環境課	生ごみ処理容器購入補助金	町民	その他補助金	町単独	15	－	24	現状維持	現状維持				現状維持		
72	環境課	電動式生ごみ処理機等購入補助金	町民	その他補助金	町単独	622	－	275	現状維持	現状維持				現状維持		
73	環境課	子供会等集団資源回収事業奨励金	愛川町集団資源回収事業実施団体登録申請を提出した団体	その他補助金	町単独	2,447	－	2,361	現状維持	現状維持				現状維持		
74	環境課	厚木小売酒販組合愛川支部資源回収事業補助金	厚木小売酒類販売組合愛川支部	その他補助金	町単独	69	－	66	その他	その他	ビン類の減少により、今後は縮小方向とすべきであるが、実績が上がっている間は継続する。			その他	ビン類の減少により、今後は縮小方向とすべきであるが、実績が上がっている間は継続する。	
75	環境課	廃品回収業者資源回収事業補助金	愛川町資源リサイクル協同組合	その他補助金	町単独	7,484	－	6,399	現状維持	現状維持		現状維持	○効率性の観点から改善の必要あり。 (補助金算定システムが複雑でわかりづらい。分りやすい費用負担方式に改善など) ○地球温暖化の問題、町の関与の方向性の検討。(絶えず地球温暖化などの視点を加えながら効率性を高めていき、どこまで町が行うべきなのか、どこまで住民にお願いするのか整理する必要がある。)	縮小	○回収単価の引き下げ ○外部評価での指摘や提言を考慮し、今後検討する。	
76	環境課	植木剪定枝破砕機購入補助金	町民	その他補助金	町単独	315	－	70	現状維持	現状維持				現状維持		
77	農政課	農業生産組合活動補助金	28各生産組合	運営費等補助金	町単独	262		262	廃止	廃止	時代の変化に伴い、補助金の公益性が薄れてきているため、「補助金等の見直しに関する指針」に基づき、廃止とすべきである。	廃止	○本補助金を廃止し、町の業務については謝礼として支出する方向で検討する。(必要な経費として支出した方が受け取り側も良い)。 ○活動内容について町が直接行う部分と活動への助成の部分を明確にすべきである。 ○町の事業として行っているレンゲの種配付は不要と考える。 ○活動内容に比べて報酬や補助金をこんなに受け取ってよいものかと感じていた。	その他	農業生産嘱託員制度の廃止に伴い、一次評価から外部評価までのプロセスでは本補助金も「廃止」となっているが、今後の生産組合活動の維持存続とともに、有害鳥獣対策について生産組合に引き続き協力を仰ぐ必要があることなどから、当面は本補助金を現状のまま継続する方向で検討する。	

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価 (総務部) 【H19. 1】		外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント
78	農政課	担い手育成対策事業補助金 (農友クラブ育成事業)	愛川町農友クラブ		町単独	170	70	170 (定額)	現状維持	縮小	会員の減少や活動内容、繰越金の状況からを削減を検討すべきである。			縮小	(H18繰越額 42千円) 会員の減少や活動内容、繰越金の状況から10%を削減する。 170, 000円 → 153, 000円(▲10%)
79	農政課	農作業安全対策事業補助金	県央愛川農協		町単独	80		80 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持	
80	農政課	有害鳥獣対策事業補助金 ※	神奈川県猟友会愛甲郡支部		県補助 (1/2)	670	115	670 (定額)		拡大	繰越金の状況から当面は現状維持とする。			現状維持	繰越金の状況から当面は現状維持とする。
81	農政課	角田上部営農飲雑用水組合補助金	角田上部営農飲雑用水組合		町単独	46	30	46 (定額)	現状維持	現状維持		廃止	○事業開始後30年が経過しており、自立が可能で補助の使命は終わった。よって、緩和措置ではなく廃止の方向で検討する。 ○町が補助金を支出する根拠が不明確である(アンテナ組合、工業団地、他の水利組合などは組合費で対応し、積立もしている)。	縮小	類似団体の運営状況や施設の補助は町で負担している現状などを考慮し、段階的に縮小する。 46, 000円 → 37, 000円(▲20%)
82	農政課	下箕輪農村公園維持管理補助金	箕輪区		町単独	33	0	33 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持	
83	農政課	担い手育成対策事業補助金 (後継者育成研修視察) 【3年に1回交付】	農友クラブ		町単独	0	-	96 (定額)	現状維持	現状維持	平成18年度に削減(181, 0000円 → 96, 000円)したため、当面は現状維持とする。 * 平成15年度までは毎年補助していたが、3年に1回の補助に見直した。			現状維持	
84	農政課	農作業受委託等掘り起こし活動補助金	県央愛川農協		町単独	100	0	100	現状維持	現状維持				現状維持	
85	農政課	農業廃棄物回収処理事業補助金	県央愛川農協		町単独	60	0	31	現状維持	現状維持				現状維持	
86	農政課	地域農産物(お茶)特産化事業補助金 ※	県央愛川農協(茶生産部会)		県補助 (10/10)	148	0	377	現状維持	現状維持		その他	○町としても荒廃地の解消に役立っているが、県の補助制度もあることから、町が関与すべき事項を整理し、検討の上対応する。 ○農協は独立性がある団体であり、自主性(農協の事業化)に任せてはどうか。	その他	町が関与すべき事項を整理し、検討の上対応する。

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価 (総務部) 【H19. 1】		外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
									今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント
87	農政課	水稻病害虫防除対策事業補助金	県央愛川農協	運営費等補助金	町単独	175	0	175	現状維持	現状維持				現状維持	
88	農政課	観賞樹木等振興対策事業補助金	県央愛川農協(緑化木部会)	運営費等補助金	町単独	40	517★	40(定額)	現状維持	縮小	会員数の減少や、2年以上連続して繰越金が補助金交付額を上回っているため、「補助金等の見直しに関する指針」に基づき、削減をすべきである。	廃止	多額の繰越金を生じている現状や、農協も補助金の大幅削減をしている状況を踏まえ、廃止の方向で検討する。	縮小	(H18繰越額 289千円) 多額の繰越金を生じている現状や、農協も補助金の大幅削減をしている状況を踏まえ、縮小とする。 40,000円 → 20,000円(▲50%) * 平成19年2月 定期監査指摘事項
89	農政課	町園芸振興連絡会運営費補助金	愛川町園芸振興連絡会	運営費等補助金	町単独	100	24	100(定額)	現状維持	縮小	繰越金の状況からを削減を検討すべきである。 * 事務局の実施主体の見直しを検討する。			現状維持	○事務局の実施主体の見直しを検討する。
90	農政課	観光農園推進事業補助金(農園果樹推進事業補助金)	県央愛川農協(農園果樹部会)	運営費等補助金	町単独	160	415★	128(定額)	縮小	縮小	平成18年度から地域特産物推進事業補助金と統合、名称を「農園果樹推進事業補助金」とし、総額160,000円を128,000円に削減した。さらに平成19年度に120,000円に削減した。 繰越金が多いため、さらに削減を検討する。 観光農園マップや看板の設置などの努力も必要。			縮小	(H18繰越額 613千円) 繰越金が多いため、今後の状況を見ながら段階的に削減する。 120,000円 → 60,000円(▲50%) * 平成19年2月 定期監査指摘事項
91	農政課	地域特産物推進事業補助金(農園果樹推進事業補助金)	県央愛川農協(農園果樹部会)	運営費等補助金	町単独				縮小	縮小	同 上			縮小	同 上
92	農政課	ふれあい農業学園事業補助金	県央愛川農協	運営費等補助金	町単独	70	0	47	現状維持	現状維持				現状維持	
93	農政課	有機農業推進事業補助金	県央愛川農協	運営費等補助金	町単独	30	0	29	現状維持	現状維持				現状維持	
94	農政課	町畜産会事業補助金(町単独補助分)	愛川町畜産会	運営費等補助金	町単独	4,019	71	3,881(定額)	現状維持	その他	会員数の推移を見ながら、今後、補助制度の見直しを行うべきである。	その他	○畜産環境問題を解決するためには、縮小への見直しを行うべきではない。 ○農協が事務局になり得るのか、町がどこまで関与すべきかについて、町は農協や県に働きかける必要がある。(町が関与する必要性は) ○補助金が正しく使われているのかについてのチェック体制を確立する必要がある。(効率性の観点・有効性の観点) ○地域住民とのトラブル解消に向けた総合的対策を講じる必要がある。 ○畜産農家と住民との共存について考える必要がある(環境対策、ブランドづくり、家畜と子ども達のふれあいの場づくり)。	その他	○外部評価での指摘や提言を考慮し、今後検討する。 ○事務局の実施主体の見直しを検討する。 ○臭気対策を中心とした補助金制度の構築を検討する。
95	農政課	施設所有管理者賠償保険補助金	愛甲郡相模川右岸土地改良区(他6団体から委任を受け補助金の交付申請請求受領をして保険会社と契約している)	運営費等補助金	町単独	108	0	108(定額)	現状維持	現状維持				現状維持	

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価（総務部）【H19. 1】			外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント	
96	農政課	神奈川県中津川左岸土地改良区運営事務費補助金 ▲	神奈川県中津川左岸土地改良区	運営費等補助金	広域	235	420	248	現状維持	現状維持				現状維持		
97	農政課	愛甲郡相模川右岸土地改良区運営事務費補助金 ▲	愛甲郡相模川右岸土地改良区	運営費等補助金	広域	739	461	739	現状維持	現状維持				現状維持		
98	農政課	地域林業形成促進事業補助金(私有林)	愛川町森林組合	運営費等補助金	町単独 (県直接あり)	644	0	2,040	拡大	現状維持				現状維持		
99	農政課	森林組合活動費補助金	愛川町森林組合	運営費等補助金	町単独	230	0	230 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
100	農政課	造林組合等活動費補助金	愛川町森林組合	運営費等補助金	町単独	350	0	350 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
101	農政課	林産物特産化事業補助金	愛川町森林組合	運営費等補助金	町単独	500	0	500 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
102	農政課	生産管理施設整備事業補助金	県央愛川農協	建設事業補助金	町単独	1,963	－	1,175	現状維持	現状維持				現状維持		
103	農政課	集出荷等施設整備事業補助金	県央愛川農協	建設事業補助金	町単独		－	786	現状維持	現状維持				現状維持		
104	農政課	坂本頭首工隧道部用地測量及び分筆権利設定登記業務委託補助金 ▲	神奈川県中津川左岸土地改良区	建設事業補助金	広域		－	238	終了	終了	H18年度のみ。			終了		
105	農政課	有害鳥獣対策用備品購入費補助金	町民	その他補助金	町単独	8	－	8	現状維持	現状維持				現状維持		
106	農政課	近代化施設整備事業補助金	県央愛川農協	その他補助金	町単独	1,800	－	2,425	現状維持	現状維持				現状維持		
107	農政課	農業経営基盤強化資金(スーパーL)利子補給金	貸付申込みをしている認定農業者	その他補助金	町単独 (国直接あり) (県直接あり)	659	－	728	現状維持	現状維持				現状維持		
108	農政課	農地流動化奨励交付金	農地流動化奨励金交付要綱に該当する土地所有者	交付金	町単独	167	－	109	現状維持	現状維持				現状維持		

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価（総務部）【H19. 1】			外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント	
109	商工観光課	愛川町商店会連合会補助金 (運営事業)	愛川町商店会連合会	運営費等補助金	町単独	315	539	315 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
110	商工観光課	愛川町商店会連合会補助金 (大型店対策事業)	愛川町商店会連合会	運営費等補助金	町単独	550	(539)	550 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
111	商工観光課	愛川町商店会連合会補助金 (街路灯保険加入事業)	愛川町商店会連合会	運営費等補助金	町単独	674	0	675	現状維持	現状維持				現状維持		
112	商工観光課	愛川町たばこ販売協議会補助金	愛川町たばこ販売協議会	運営費等補助金	町単独	135	46	135 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
113	商工観光課	厚木法人会愛川地区会補助金	厚木法人会愛川地区会	運営費等補助金	町単独	90	304★	90 (定額)	縮小	縮小	2年以上連続して繰越金が補助金交付額を上回っているため、「補助金等の見直しに関する指針」に基づき削減すべきである。	縮小	加入率のアップに向けて今後努力を期待する。	現状維持	(H18繰越額 316千円) 町内法人への税知識の高揚や関係諸制度の普及啓発を通じて税収の確保に寄与しているため、当面は現状維持とする。	
114	商工観光課	愛川町青色申告推進協議会補助金	愛川町青色申告推進協議会	運営費等補助金	町単独	90	104★	90 (定額)	縮小	縮小	2年以上連続して繰越金が補助金交付額を上回っているため、「補助金等の見直しに関する指針」に基づき削減を検討すべきである。 平成19年度から「厚木青色申告会愛川地区会補助金」に名称変更			現状維持	(H18繰越額 29千円) 町内商工業者への帳簿記帳や税申告制度の普及啓発を通じて税収の確保に寄与しているため、当面は現状維持とする。	
115	商工観光課	(財)繊維産業会運営費補助金	財団法人繊維産業会	運営費等補助金	町単独	4,840	1,483	4,840 (定額)	現状維持	縮小	繰越金が多い状況から、削減を検討すべきである。	その他	○単なる縮小ではなく抜本的な見直しが必要。 ○努力は認めつつも活性化のアイディアを更に出してほしい。(効率性の観点) ○体験学習など効果を上げている。今後、工芸工房村との関係も工夫してほしい。(有効性の観点) ○レインボープラザの運営方法の改善 ○アパレル産業の活性化を図るための工夫、改善が必要。	縮小	○交付額4,840千円の内訳 ・施設管理費分 3,000千円 ・一般運営費分 1,840千円 ○収益事業の状況を考慮し、運営費分の5%を削減する。 1,840,000円 → 1,748,000円(▲5%) 3,000,000円+1,748,000円 =4,748,000円	
116	商工観光課	愛甲商工会活動事業補助金	愛甲商工会	運営費等補助金	町単独 (県直接あり)	9,336	3,716	9,762	現状維持	現状維持				現状維持		
117	商工観光課	愛甲商工会部会活動事業補助金	愛甲商工会(青年部、女性部)	運営費等補助金	町単独	450	545★	450 (定額)	縮小	縮小	2年以上連続して繰越金が補助金交付額を上回っているため、「補助金等の見直しに関する指針」に基づき削減すべきである。	縮小	将来的には「商工会活動事業補助金」への統合の方向で検討してほしい。	縮小	(H18繰越額 720千円) 450,000円 → 360,000円(▲20%)	
118	商工観光課	大塚下団地工業会団体育成費補助金	愛甲商工会(大塚下団地工業会)	運営費等補助金	町単独	225	369★	225 (定額)	縮小	縮小	2年以上連続して繰越金が補助金交付額を上回っているため、「補助金等の見直しに関する指針」に基づき削減すべきである。			縮小	(H18繰越額 499千円) 225,000円 → 180,000円(▲20%)	
119	商工観光課	愛甲商工会館運営事業補助金	愛甲商工会	運営費等補助金	町単独	500	685★	400 (定額)	現状維持	縮小	2年以上連続して繰越金が補助金交付額を上回っているため、「補助金等の見直しに関する指針」に基づき削減すべきである。			縮小	(H18繰越額 348千円) 400,000円 → 320,000円(▲20%)	

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価（総務部）【H19. 1】			外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント	
120	商工観光課	愛川町観光協会補助金	愛川町観光協会	運営費等補助金	町単独	315	94	315 (定額)	現状維持	現状維持	一定の繰越金が生じているが、工芸工房村のオープン控え、事業展開が予想されるため、現状維持とする。			現状維持		
121	商工観光課	湘北建築高等職業訓練校運営事業補助金 ▲	湘北建築高等職業訓練校	運営費等補助金	広域	64	60	64 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
122	商工観光課	内陸工業団地従業員福利厚生事業補助金 ▲	神奈川県内陸工業団地協同組合	運営費等補助金	広域	270	0	270 (定額)	現状維持	縮小	時代の変化や補助金の必要性が低下してきている状況から、削減を検討すべきである。	その他	○縮小を念頭に置きながら抜本的な見直しが必要。 ○事業内容、取組み方法について見直しが必要。 ○派遣労働者の問題等、今後配慮の必要あり、政策的に今後検討する必要あり。	縮小	270, 000円 → 243, 000円(▲10%)	
123	商工観光課	厚木・愛甲地域連合文化体育活動費補助金 ▲	厚木愛甲地域連合	運営費等補助金	広域	150	0	150 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
124	商工観光課	内陸工業団地労働組合交流会文化体育活動費補助金 ▲	内陸工業団地労働組合交流会	運営費等補助金	広域	150	361★	150 (定額)	縮小	縮小	2年以上連続して繰越金が補助金交付額を上回っているため、「補助金等の見直しに関する指針」に基づき削減する。			現状維持	(H18繰越額 80千円) 繰越金が多くなった理由として、悪天候によりイベントが未実施となったこと、また平成18年度決算で繰越金が減少したことから、当面は現状維持とする。 * 平成19年2月 定期監査指摘事項	
125	商工観光課	内陸工業団地協同組合送迎バス共同駐車場運営事業補助金	神奈川県内陸工業団地協同組合	運営費等補助金	町単独	155	0	155 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
126	商工観光課	建築技能向上事業補助金	KAA建築協会愛川	運営費等補助金	町単独	90	176★	90 (定額)	縮小	縮小	2年以上連続して繰越金が補助金交付額を上回っているため、「補助金等の見直しに関する指針」に基づき削減すべきである。			縮小	(H18繰越額 150千円) 90, 000円 → 72, 000円(▲20%) * 平成19年2月 定期監査指摘事項	
127	商工観光課	街路灯管理事業補助金(電気料)	町内6商店会、内陸工業団地共同組合	その他補助金	町単独	3,913	－	4,083	現状維持	現状維持				現状維持		
128	商工観光課	街路灯管理事業補助金(修繕等)	町内商店会	その他補助金	町単独		－	1,000	現状維持	現状維持				現状維持		
129	商工観光課	内陸工業団地環境整備事業補助金(グリーンベルト維持管理)	神奈川県内陸工業団地協同組合	その他補助金	町単独	2,000	－	2,000 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価（総務部）【H19. 1】			外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント	
130	商工観光課	地域活性化イベント・三増合戦まつり補助金	三増合戦まつり実行委員会	その他補助金	町単独	2,200	－	1,700	現状維持	現状維持	立ち上げ時 220万円 → H19年度 160万円 定額は120万円			現状維持		
131	商工観光課	中小企業技術力向上促進事業補助金	町内中小企業	その他補助金	町単独	1,322	－	516	現状維持	現状維持				現状維持		
132	商工観光課	西部地域活性化イベント補助金	愛川町西部地域まちづくり推進委員会	その他補助金	町単独	200	－	1200 (定額)	現状維持	現状維持		現状維持	120万円の補助開始から1年経過のため、今後の展開を見る必要あり。実行委員会の運営方法についても改善の必要があると思われる。	現状維持	120万円の補助開始から1年経過のため、今後の展開を見る必要あり。実行委員会の運営方法についても改善の必要がある。	
133	商工観光課	繊維産業近代化促進事業利子補給金	財団法人繊維産業会 (その後繊維産業会から利子補給者に交付)	その他補助金	町単独	166	－	253	縮小	縮小		縮小		縮小	3%から2%に引き下げる	
134	商工観光課	地場産業新商品開発事業費補助金	財団法人繊維産業会	その他補助金	町単独	200	－	200 (定額)	現状維持	現状維持	平成20年度で終了予定。			現状維持	平成20年度で終了予定。	
135	商工観光課	商工振興利子補給金	町内商工業事業者	その他補助金	町単独	8,786	－	8,989	現状維持	現状維持				現状維持		
136	商工観光課	愛甲商工会情報強化事業補助金	愛甲商工会	その他補助金	町単独	240	－	240 (定額)	現状維持	縮小	すでにホームページも開設済みであるため、事業目的を検証し事業内容の見直しを行うべきである。	縮小	ホームページの充実も含め、今後発行回数の減少あるいは配付方法の検討の必要あり。	縮小	ホームページも開設済みであるため、事業内容を見直す必要がある。 240, 000円 → 192, 000円(▲20%)	
137	商工観光課	新規ビジネス創造支援事業費補助金	愛甲商工会	その他補助金	町単独	200	－	200 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
138	商工観光課	情報ネットワーク事業補助金	愛甲商工会	その他補助金	町単独		－	500	終了	終了	H18年度のみ。			終了		
139	商工観光課	信用保証料補助金	町、県制度融資を受けている事業者	その他補助金	町単独	733	－	1,020	現状維持	現状維持				現状維持		
140	商工観光課	全国安全週間県央地区推進大会補助金 ▲	社団法人神奈川労務安全衛生協会厚木支部	その他補助金	広域	10	－	10 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
141	商工観光課	勤労者組合事業補助金(メーデー補助金) ▲	厚木愛甲地域連合(250, 000円)、厚木地区労働組合協議会(100, 000円)	その他補助金	広域	350	－	350 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	…… 国の補助を受けているもの
	※	…… 県の補助を受けているもの
	▲	…… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	…… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		…… 外部評価(試行)対象事業
		…… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価（総務部）【H19. 1】			外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント	
142	商工観光課	勤労者住宅資金利子補給金	町内勤労者	その他補助金	町単独	5,489	－	5,018	現状維持	現状維持				現状維持		
143	商工観光課	中小企業退職金共済制度奨励補助金	町内中小企業退職金共済制度加入企業	その他補助金	町単独	1,269	－	1,223	現状維持	現状維持				現状維持		
144	商工観光課	障害者雇用奨励補助金	障害者を雇用する町内中小企業	その他補助金	町単独	90	－	120	現状維持	現状維持				現状維持		
145	都市施設課	木造住宅耐震診断事業補助金◎	木造住宅耐震診断を希望する町民	その他補助金	国補助(4.5/10)	60	－	20	拡大	拡大	平成19年度以降は簡易診断から一般診断へ移行する。			拡大	平成19年度より「木造住宅耐震診断(一般)補助金」に加え「木造住宅耐震診断改修補助金」のメニューを設けた。	
146	下水道課	水洗便所改造等奨励金	水洗化の工事をする町民	その他補助金	町単独	3,576	－	3,480	現状維持	現状維持		その他	○水洗化は環境整備に影響するため、早期に水洗化を進める方策の検討。 (横断的な組織の連携による水洗化のPR)	その他	下水道未接続世帯に対する接続推進方策を検討する。	
147	下水道課	水洗便所改造等融資あっせん利子補給金	水洗便所に改造するさいに金融機関から借りた町民の利子補給	その他補助金	町単独	30	－	23	現状維持	現状維持				現状維持		
148	下水道課	私設汚水ポンプ施設設置助成金	私設ポンプを設置する町民	その他補助金	町単独		－	0	現状維持	現状維持				現状維持		
149	議会事務局	政務調査費交付金	愛川町議会における会派又は会派に所属しない議員に対して交付する。	交付金	町単独		－	2,040 (定額)	現状維持	現状維持	決算状況を確認する。 年度末の状況を把握し評価する。			現状維持		
150	選挙管理委員会事務局	小田原檢察審査協会補助金▲	小田原檢察審査協会	運営費等補助金	広域	20	178	20 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
151	選挙管理委員会事務局	愛川町明るい選挙推進協議会補助金	愛川町明るい選挙推進協議会	運営費等補助金	町単独(県直接あり)	260	88	260 (定額)	現状維持	現状維持	繰越金の状況から削減対象に挙げられるが、今後の事業展開を見てから判断する。			現状維持		
152	教育総務課指導室	厚木地区私立幼稚園協会補助金	厚木地区私立幼稚園協会	運営費等補助金	町単独	280	207	280 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
153	教育総務課指導室	厚木愛甲教職員厚生会補助金▲	厚木愛甲教職員厚生会	運営費等補助金	広域	1,308	(3,003)	1,290	縮小	縮小	時代の変化を考慮し、厚木市、清川村と協議を行っていくものとする。	縮小	○厚木市、清川村との円滑な協議を経て縮小を検討する ○繰越金が年度によりバラツキがあるので、改善が必要。	縮小	平成19年度から縮小。今後も引き続き厚木市、清川村と協議し、縮小の方向で検討する。 6,000(1人当たり)円 → 5,463円【H19から】 (H19交付額 1,213千円)	
154	教育総務課指導室	小中学校教育研究会補助金	愛川町立小中学校教育研究会	運営費等補助金	町単独	150	51	150 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価（総務部）【H19. 1】			外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント	
155	教育総務課 指導室	教育開発センター自主研究活動グループ補助金	登録した各研究グループ	運営費等補助金	町単独	80	0	90	縮小	その他	応募グループが減少傾向にあり、制度の見直しを検討する必要がある。			その他	応募グループが減少傾向にあり、制度の見直しを検討する。	
156	教育総務課 指導室	文集(新樹)編集補助金	厚木愛甲地区中学校教育研究会国語部会	運営費等補助金	広域	132	0	129	現状維持	現状維持				現状維持		
157	教育総務課 指導室	生徒指導担当教員連絡協議会補助金 ▲	愛川町中学校長会	運営費等補助金	広域	45	0	45 (定額)	廃止	廃止	補助の必要性を検討し、厚木市は平成19年度から廃止。			廃止	平成19年度から廃止	
158	教育総務課 指導室	中学校体育連盟補助金 ▲	厚木愛甲地区中学校体育連盟	運営費等補助金	広域	545	1	505	現状維持	現状維持				現状維持		
159	教育総務課 指導室	私立幼稚園就園奨励費補助金(国庫補助分) ◎	愛川町民が在園する私立幼稚園(平成18年度:14園 愛川町内4園・厚木市内5園・相模原市3園・海老名市1園・町田市1園)	その他補助金	国補助 (1/3以内)	36,024	－	35,833	拡大	拡大				拡大		
160	教育総務課 指導室	私立幼稚園就園奨励費補助金(町単独分)	愛川町民が在園する私立幼稚園(平成18年度:14園 愛川町内4園・厚木市内5園・相模原市3園・海老名市1園・町田市1園)	その他補助金	町単独	15,552	－	14,640	拡大	拡大				拡大		
161	教育総務課 指導室	私立幼稚園就園奨励費事務費補助金	町内私立幼稚園4園(中津幼稚園・楠幼稚園・春日台幼稚園・愛川幼稚園)	その他補助金	町単独	240	－	240	現状維持	現状維持				現状維持		
162	教育総務課 指導室	私立幼稚園児尿・ぎょう虫卵検査補助金	町内に設置されている私立幼稚園の設置者	その他補助金	町単独	204	－	142	現状維持	現状維持				現状維持		
163	教育総務課 指導室	私立幼稚園砂場砂購入補助金	町内に設置されている私立幼稚園の設置者	その他補助金	町単独	50	－	70	現状維持	その他	砂購入の実態や補助効果を検証し、補助基準の見直しを行う。			その他	砂購入の実態や補助効果を検証し、補助基準の見直しを行う。	
164	教育総務課 指導室	魅力ある課題選択研修委員会補助金	魅力ある教員養成課題選択研修委員会	その他補助金	町単独	43	－	60 (定額)	現状維持	現状維持	今後はNO175「魅力ある学校づくり交付金」で対応すべきである。			現状維持		
165	教育総務課 指導室	進路指導活動費補助金	愛川町立中学校〔3校〕	その他補助金	町単独	300	－	300 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
166	教育総務課 指導室	社会福祉研究補助金	町立中学校(3校)	その他補助金	町単独	210	－	210 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持		
167	教育総務課 指導室	高校等進学奨学金	奨学金該当者	その他補助金	町単独	2,687	－	2,487	現状維持	現状維持				現状維持		
168	教育総務課 指導室	魅力ある学校づくり教職員県外優良校視察補助金	町小・中学校教育研究会	その他補助金	町単独	257	－	257 (定額)	現状維持	その他	隔年実施とするなど、必要性を見極めながら実施方法を検討する。今後は「魅力ある学校づくり交付金」で対応すべきである。	その他	教育に関する補助金のメニューが多いため補助メニューを統合の方向で工夫すべきである。	縮小	平成20年度から隔年実施とする。	

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価 (総務部) 【H19. 1】		外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント
169	教育総務課 指導室	児童給食費補助金	愛川町立小学校(6校)	その他補助金	町単独	2,819	－	2,825	現状維持	現状維持				現状維持	
170	教育総務課 指導室	児童派遣費補助金	町立小学校(6校)	その他補助金	町単独	783	－	789	拡大	現状維持				現状維持	
171	教育総務課 指導室	自転車通学生徒ヘルメット購入費補助金	町立中学校長	その他補助金	町単独	54	－	54	現状維持	現状維持				現状維持	
172	教育総務課 指導室	生徒派遣費補助金	町立中学校(3校)	その他補助金	町単独	1,916	－	1,916	拡大	現状維持				現状維持	
173	教育総務課 指導室	関東中学校・全国中学校選抜大会参加者派遣費補助金	町内中学校長	その他補助金	町単独	302	－	303	現状維持	現状維持				現状維持	
174	教育総務課 指導室	学校経営交付金 (小学校300千円、中学校150千円)	町立小・中学校	交付金	町単独	450	－	450 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持	
175	教育総務課 指導室	魅力ある学校づくり交付金 (小学校4, 200千円、中学校3, 000千円)	町立小・中学校	交付金	町単独	9,091	－	7,200	拡大	現状維持		現状維持	○この事業は時宜を得ている。ただし、教育に関する補助メニューが多い中で充実の方向で検討 ○教育に関する補助金のメニューが非常に多いため、補助メニューを統合の方向で工夫すべきである。	現状維持	外部評価での指摘や提言を考慮し、今後検討する。
176	生涯学習課	婦人団体運営費補助金	町内4婦人会	運営費等補助金	町単独	400	119	400 (定額)	現状維持	現状維持	男女共同参画の観点から、婦人団体としての役割を強く見出せるような活性化方策を検討すべきである。			現状維持	
177	生涯学習課	町婦人団体連絡協議会運営費補助金	愛川町婦人団体連絡協議会	運営費等補助金	町単独	230	113	230 (定額)	現状維持	現状維持	同 上			現状維持	
178	生涯学習課	生涯学習推進事業運営費補助金	春日台区(春日台会館運営委員会)	運営費等補助金	町単独	1,628	1,171	1, 628 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持	
179	生涯学習課	町PTA連絡協議会運営費補助金	愛川町PTA連絡協議会	運営費等補助金	町単独	180	68	180 (定額)	現状維持	縮小	繰越金が多い状況から削減を検討すべきである。			縮小	(H18繰越額 42千円) 180, 000円 → 162, 000円(▲10%)
180	生涯学習課	家庭教育活動研究事業補助金	町立小中学校PTA2団体 @60,000円 × 2団体	運営費等補助金	町単独	120	272	120 (定額)	拡大	現状維持				現状維持	
181	生涯学習課	町PTA活動研究大会補助金	愛川町PTA連絡協議会	運営費等補助金	町単独	260	0	260 (定額)	現状維持	現状維持	アトラクションの必要性を検討する。			現状維持	アトラクションの必要性を検討する。
182	生涯学習課	ボーイスカウト育成補助金	ボーイスカウト愛川第1団・第2団	運営費等補助金	町単独	120	117	120 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持	

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価 (総務部) 【H19. 1】		外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント
183	生涯学習課	愛川町地区健全育成組織連絡協議会補助金	愛川町地区健全育成組織連絡協議会補助金	運営費等補助金	町単独	90	0	90 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持	
184	生涯学習課	地区青少年健全育成組織運営費補助金	21行政区の地区青少年健全育成組織(育成会)	運営費等補助金	町単独	2,520	4,126	2,520 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持	
185	生涯学習課	町子ども会連絡協議会運営費補助金	愛川町子ども会連絡協議会	運営費等補助金	町単独	137	54	338	現状維持	現状維持	運営費分 137, 000円 保険料分 226, 000円			現状維持	
186	生涯学習課	読書普及活動補助金 (文庫活動グループ 10千円) (紙芝居グループ 10千円) (おはなしグループ 10千円)	読書普及活動団体(ボランティア団体) おはなし「たんぼぼ」、おはなしごっこ、春日台ファミリー文庫	運営費等補助金	町単独	30	0	30 (定額)	現状維持	現状維持	「その他補助金」に区分を変更する。 @10, 000円×3団体			現状維持	「その他補助金」に区分を変更する。 @10, 000円×3団体
187	生涯学習課	文化会館事業協会補助金	愛川町文化会館事業協会	運営費等補助金	町単独	8,000	1,423	8,000 (定額)	現状維持	その他	今後の指定管理者制度の導入検討と併せて、町文化会館事業協会のあり方を見直す必要がある。	その他	○設置根拠が公民館であるので、事業運営に限界がある。 ○文化会館事業協会の運営(事業)にイベント企画などの新たな視点の人材が必要である。 ○職員では発想が乏しいのでプロデュース、コーディネートなどイベントの専門家に任せる。(指定管理者制度の導入)	その他	外部評価での指摘や提言を考慮し、今後検討する。
188	生涯学習課	愛川町青少年県外交流事業補助金 ※	愛川町青少年県外交流実行委員会	その他補助金	県補助 (1/3)	686	0	626 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持	
189	生涯学習課	読書・読み聞かせ活動事業補助金	読書・読み聞かせボランティアサークル 9団体	その他補助金	町単独	90	－	90	拡大	現状維持	@10, 000円×9団体			現状維持	
190	生涯学習課	地区青少年広場整備費補助金 (小沢青少年広場整備事業補助金 他1件)	各行政区	その他補助金	町単独	326	－	1,059	現状維持	現状維持				現状維持	
191	生涯学習課	地域公民館等集会施設整備費補助金 (大塚公民館整備事業補助金 他7件)	各行政区	その他補助金	町単独	326	－	4306 (補正対応2件追加)	現状維持	現状維持				現状維持	
192	スポーツ・文化振興課	三増獅子舞保存会運営費補助金	三増獅子舞保存会	運営費等補助金	町単独	100	133	100 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持	

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価 (総務部) 【H19. 1】		外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント
193	スポーツ・文化振興課	囃子団体運営費補助金	①原臼囃子保存会② 両向囃子保存会③宮 本区会④角田ばやし 保存会	運営費等補 助金	町単独	80	9	80 (定額)	現状維持	現状維持	@20, 000円×4団体			現状維持	
194	スポーツ・文化振興課	管巻唄保存団体運営費補助金	愛川町民謡保存会	運営費等補 助金	町単独	30	10	30 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持	
195	スポーツ・文化振興課	海底紙伝承技術継承育成団体 運営費補助金	海底和紙保存会／海 底和紙継承会	運営費等補 助金	町単独	50	0	50 (定額)	現状維持	現状維持	@25, 000円×2団体	現状維持	○2団体双方が発展できるような方策 の検討。 ○伝統継承か販売促進か、目指すべ き姿を明確にする必要がある。	現状維持	外部評価での指摘や提言を考慮し、今後検討する。
196	スポーツ・文化振興課	愛川ウインドオーケストラ運営 費補助金	愛川ウインドオーケス トラ	運営費等補 助金	町単独	100	48	100 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持	
197	スポーツ・文化振興課	愛川町合唱祭運営費補助金	愛川町合唱祭実行委 員会	運営費等補 助金	町単独			100 (定額)	現状維持	その他	平成20年までのサンセット方式とする。			その他	平成20年までのサンセット方式とする。
198	スポーツ・文化振興課	愛川町文化協会補助金	愛川町文化協会	運営費等補 助金	町単独	1,925	244	1,300 (定額)	現状維持	現状維持	会員数が減少傾向にあるため、事業内容を工夫し、活 性化方策を検討する。			現状維持	会員数が減少傾向にあるため、事業内容を工夫し、活 性化方策を検討する。
199	スポーツ・文化振興課	町体育協会補助金	愛川町体育協会	運営費等補 助金	町単独	2,465	128	2,465 (定額)	現状維持	現状維持	事業内容を工夫し、活性化方策を検討する。 平成19年度当初予算 2, 530, 000円(1団体増 加)			現状維持	
200	スポーツ・文化振興課	町スポーツ少年団補助金	愛川町スポーツ少年 団	運営費等補 助金	町単独	200	43	200 (定額)	現状維持	現状維持	事業内容を工夫し、活性化方策を検討する。			現状維持	
201	スポーツ・文化振興課	町体育協会30周年記念補助金	愛川町体育協会	運営費等補 助金	町単独			600	終了	終了	H18年度のみ。			終了	
202	スポーツ・文化振興課	農協グラウンド管理費補助金	県央愛川農業協同組 合	運営費等補 助金	町単独	1,350	0	1,350 (定額)	現状維持	その他	施設利用の現状や経費の状況を見極め、補助制度の 見直しを行う必要がある。	その他	設置当初は田代運動公園もなく、ス ポーツ振興に寄与してきたが、現在は グラウンドも荒廃し、また限られた者が使 用している状況から、今後のあり方に ついて農協に意見を聴き、その上で検 討する必要がある。	縮小	1, 350, 000円 → 1, 080, 000円(▲20%)
203	スポーツ・文化振興課	文化芸能全国大会等出場奨励 金	文化芸能分野で全国 大会・国際大会に出場 する町内に居住する個 人または町内に所在 する団体	その他補助 金	町単独	110	－	100	現状維持	現状維持				現状維持	
204	スポーツ・文化振興課	スポーツ全国大会等出場奨励 金	スポーツの全国大会 及び国際大会に出場 することにより、本町の 社会体育の振興に寄 与すると認められる個 人または団体	その他補助 金	町単独	276	－	255	現状維持	現状維持				現状維持	
205	スポーツ・文化振興課	市町村対抗かながわ駅伝競走 大会補助金	愛川町選手団	その他補助 金	町単独	150	－	150 (定額)	現状維持	現状維持				現状維持	
206	スポーツ・文化振興課	町民みなふれあい体育大会出 場行政区交付金	大会出場行政区	交付金	町単独		－	3,150 (定額)	その他	現状維持	@150, 000円×21区			現状維持	

平成18・19年度補助金等評価結果一覧表

凡 例	◎	……… 国の補助を受けているもの
	※	……… 県の補助を受けているもの
	▲	……… 広域(他市町村)で補助しているもの

凡 例	★	……… 2年間以上にわたり、補助金交付額を上回る繰越金があるもの
		……… 外部評価(試行)対象事業
		……… 「今後の方向性」で「現状維持」以外の評価をした

									一次評価 (担当課) 【H18.6～8】	二次評価 (総務部) 【H19. 1】		外部評価(三次評価:行政改革推進委員会) 【H19. 6～8】		最終方針(町) 【H19. 10】	
NO	所属名	事業名称(補助金等の名称)	補助等交付先	区分	分類	H17年度 交付額 (千円)	H17年度 繰越額 (千円)	H18年度 交付額 (千円)	今後の 方向性	今後の 方向性	二次評価 コメント	今後の 方向性	三次評価 コメント	今後の 方向性	コメント
207	消防本部	町危険物安全協会運営費補助金	愛川町危険物安全協会	運営費等補助金	町単独	100	447★	100 (定額)	現状維持	縮小	2年以上連続して繰越金が補助金交付額を上回っているため、「補助金等の見直しに関する指針」に基づき、削減をすべきである。	その他	○効率性の観点から改善の余地はあるが、極めて公共性の高い事業を行っているので一律縮小という考え方はいかなものか。 ○町が関与すべき事業であるが、補助金がなくても自立できる団体であり、補助金の見直しをすべきである。	縮小	(H18繰越額 272千円) 100, 000円 → 80, 000円(▲20%)
208	消防本部	消防団運営費補助金	愛川町消防団	運営費等補助金	町単独	9,860	1,120	9,860	現状維持	現状維持	今後、消防の広域化推進と併せて検討する。			現状維持	
209	消防本部	県消防操法大会出場補助金【隔年交付】	消防団(町操法大会の優勝チーム)	運営費等補助金	町単独	0	0	600 (定額)	縮小	縮小	慰労経費等に充当している状況から削減を検討し、併せて「交付金」に変更する。	その他	町が関与する必要性を明確化し、使途を限定すべきである。これからの時代、会計処理の仕方など曖昧にはできない。(事業の目的は妥当か)	縮小	慰労経費等に充当している状況であるが、消防団員の確保の実情や訓練日程等を考慮し、5%削減する。併せて「交付金」に変更する。 600, 000円 → 570, 000円(▲5%)
210	消防本部	消火栓用資機材整備事業補助金	各消防団	その他補助金	町単独	1,561	－	1,593	現状維持	現状維持				現状維持	
211	消防本部	自主防災組織備品購入費補助金	各行政区	その他補助金	町単独	76	－	637	現状維持	現状維持				現状維持	